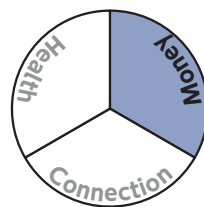


# 原油価格が下がると何に影響するの？



経済調査部 エコノミスト 奥脇 健史(おくわき たけし)

## 日々の値動きに注目が集まる原油価格

2020年の原油価格は、当初は中東情勢不安により上昇しましたが、2月半ばからは一転、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な需要減少から大幅に下落、WTI原油先物価格が一時マイナスとなるなど、大きな値動きをみせています。今年に入り特に注目が集まる原油価格ですが、その値動きは私たちの生活にどのような影響を与えるのでしょうか。

## 身近なものの価格に影響を与える原油価格

原油には地域毎に目安となる指標があります。WTI原油(主に北米)、北海ブレント原油(主に欧州)、ドバイ原油(主にアジア)などです。取引量の多さからWTI原油価格がとりあげられることが多いですが、それぞれ同じような値動きとなりやすいです(資料1)。

原油価格の変動は、ガソリン、灯油などの石油製品や、燃料価格の変動を通じて電気代やガス代などの価格に影響を与えます。実際に、原油価格の下落を反映して、足下でガソリン価格は下落しています(資料2)。このように、原油価格の下落により、身近なものの価格が下落することで、消費者の負担や企業のコスト軽減につながります。一方で、原油価格の下落は、石油製品への輸出依存度が高い国にとってはマイナスの影響となります。また、原油関連の金融商品を保有する投資家にとっても、保有資産の下落につながります。

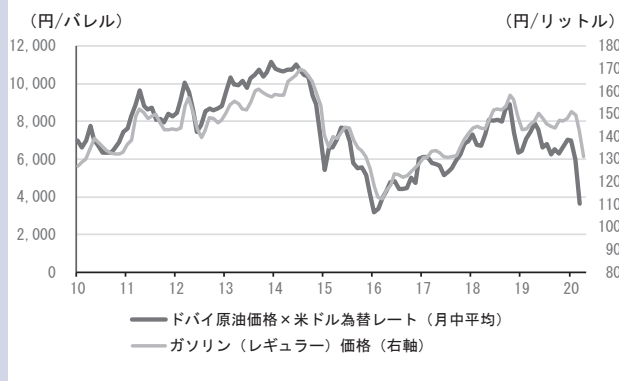
新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞によって、世界の原油需要が大幅に減少する中、4月末時点で米国の原油在庫は過去最高に近い水準まで積み上がっています(資料3)。OPEC(石油輸出国機構)加盟国などの主要産油国は、4月に大幅な減産を決定するなど、供給側から価格を押し上げるための対応をとっていますが、足下で原油価格の低迷は続いています。原油価格の低迷は、物価の下落を通じて消費者や企業に恩恵を与える一方で、世界経済の厳しい状況を示しています。5月に入り各国が徐々に経済活動の再開に動く中、今後原油価格がどのような動きになるのか、引き続き注目です。

### 資料1 原油価格の推移(2020年4月末時点)



(出所) Bloombergより第一生命経済研究所作成

### 資料2 原油価格(円建て)とガソリン価格の比較(月中平均)



(出所) Bloomberg、資源エネルギー庁より第一生命経済研究所作成

### 資料3 米国の原油在庫量の推移



(出所) 米エネルギー情報局より第一生命経済研究所作成